

課目名：文化論ⅢⅣ 課目コード：E110 E111

単位名：理容科：ヘアデザイン・ブライダルシェービングエステ

美容科：ヘアデザイン・メイク・ネイル・ブライダルスタイリスト・エステティック・就職進学クラス

1単位(30単位時間)

開講時期：2学年(前期・後期)

担当教員：大堀京子 田中恵津子 真吉一巳 長瀬達雅 真田千草 塚田直子 福山和美

池原美枝子 松元初枝 宮本隆行 五井恵 野田有子 富田敬子 江川野俊一

●課目授業の目的と学生の達成目標：

西洋の歴史を知り、その時代背景と理容師・美容師が発生した起源を知る

●成績評価の方法：

期末試験 模擬試験等

●教材・並びに教育方法：

理容師美容師教育センター指定の教科書を使用

定期試験の6割以上の成果を目指す

●特に必要な教育手法、講師、協力企業等

●この課目の今後の展開

過去の歴史を中心に授業を行うことによって、現実的な感覚に乏しくなることから、今の学生によりリアルに感じてもらう工夫が必要

●備考

前期 7月中間テスト

9月期末テスト

後期 2月期末テスト

2月実力テスト

*各クラスで確認小テスト実施

*夏期休暇、冬期休暇にはテスト対策問題の課題

成績不良者を補講することによってフォローし、再試験を行い単位認定する

回	時限	授業内容	実務経験のある教員
1	2	総論 大まかに紀元前から現代までの日本を学ぶ	
2	2	日本の理容業・美容業の歴史・理容業・美容業の発生 日本でどのように美容師という職業が生まれたのかを学ぶ	
3	2	江戸時代の理容業・美容業・近代の理容業・美容業 近代での美容業の移り変わりについて学ぶ	
4	2	現代の理容業・美容業 現代のボーダーレス時代の美容について考察する	
5	2	ファッション文化史（日本編・縄文・弥生・古墳時代）・古代（飛鳥、奈良、平安時代） 古代の髪型・服装について学ぶ	
6	2	中世（平安末、鎌倉、室町、戦国時代） 着物文化の変化と髪型について学ぶ	
7	2	近世Ⅰ（戦国末、安土桃山時代） 代表的な日本髪の名称と形を学ぶ	
8～9	4	近世Ⅱ（江戸時代） 洋髪の発生と日本髪の衰退の時代背景を学ぶ	
10	2	近代（明治、大正、昭和20年まで） 数々の大戦を乗り越えて美容がどのように変わってきたかを学ぶ	
11	2	現代（1945～1950） 第二次世界大戦後の日本の美容について	
12	2	現代（1960～1970） 高度経済成長期の日本の美容業界	
13	2	現代（1980～1990） 高齢化に伴う、生活の変化と髪型について	
14	2	現代（2000年以降） 少子化・超高齢化時代を迎え、今後の美容業界のゆくえ	